

真剣な眼差し、情熱、そして、喜び 全国の方々が交流を深め、無事にねんりんピックが閉幕しました



11月9日(土)～12(日)、『ねんりんピック紀の国わかやま 2019』が開催されました。9日、紀南文化会館では弓道・合気道交流大会合同開始式があり、10日から弓道・サッカー・合気道の3種目が行われました。また、健康づくり教室や特産品の売店、観光ツアーなどで参加者をもてなしました。

他にも、植芝盛平翁顕彰事業「植芝盛平翁の故郷を訪ねて」や第32回田辺農林水産業まつりが同期間中に開催されました。



11月3日(日)、中辺路町高原で『第28回熊野古道絵巻行列』が開催され、子供から大人まで参加して平安衣装の時代行列を作り、約1.5kmの距離を練り歩きました。

笑顔が彩るまちのたより みんなの彩時記



11月17日(日)、田辺スポーツパークで市民参加の防災フェスティバル田辺が開催され、担架作成搬送や水バケツリレーなどを運動会形式で行い、防災意識やお互いに助け合う力を高めました。



10月26日(土)・27日(日)、東部・万呂・新庄・ひがし公民館で秋の展示会が開催され、保育園児や小学生のほか、地域の方々が作った絵画などが展示されました。



11月14日(土)、紀南文化会館で闘雞神社創建千六百年記念「奉納落語公演」が開催されました。桂小文枝は「熊野詣」を披露、また市出身の桂三歩からも来演し、来場者は生の落語に聞き入りました。



11月3日(日)、下川下でふる里富里まつりが行われました。農産物や軽食などの販売、じゃんけん大会や富里くじのほか、とみさと交流館内では、富里サロン写真展や生花が展示されました。